

## 獣医学教育モデルコアカリキュラムの目指すもの

### 病態獣医学分野のコアカリ作成の現状

○片本 宏 宮崎大学農学部

全体目標の概略は以下の通りである。【病理学】動物の疾病の病理学的知見を理解するために、対象疾患の原因と病理発生、病理学的特徴、病理学的分類、類症鑑別に関する基本的知識を修得し、それらを応用する基本的技能を身につける。【免疫学】免疫系の基本的な仕組みと働きを充分理解でき、さらに免疫学と他の教科との関連づけができる応用力を習得することを目的とする。【微生物学】各種微生物の基本的性状を学ぶ。動物の感染症及び人獣共通感染症の起因微生物を感染宿主の動物種差を含めて理解するために、微生物の分類、微細構造、生態、増殖様式、感染様式、感染宿主に及ぼす影響、化学療法薬と耐性および正常菌叢に関する基礎的知識を修得し、診断、治療及び予防に応用する基本的技能を身につける。【家禽疾病学】家禽の解剖学的・生理学的・免疫学的機能と特性を理解し、個々の家禽疾病の原因、症状、診断および予防に関する知識を修得し、それらを家禽産業あるいは関連分野に応用できる能力と技能を身につける。【魚病学】水生動物の疾病の病態ならびに疫学を理解することにより、それらの診断、予防ならびに治療のための基礎知識を得ることを目標とする。養殖現場における疾病診断や無病証明書の発行、抗生物質や抗菌物質による治療、またワクチン投与、さらに動物園・水族館、小動物臨床において、臨床に対応できる基礎知識を習得する。【動物感染症学】動物の感染症を制御する考え方と主な感染症の病因、成立要因、発病機序、疫学、流行、病態生理、生体防御、診断、治療および予防について学び、家畜、伴侶動物および野生動物の感染症を制御する基本的な方策と個々の感染症の制御法を関連法規に基づき修得する。【寄生虫・寄生虫病学】獣医臨床および公衆衛生上重要な寄生虫の形態、生活環、病原性、流行の現状・疫学、診断、治療、予防および宿主の防御機構について理解し、寄生虫による病害の発生の機序やその対策について学ぶ。科目間の重複の調整、単位数の多寡、国家試験出題基準との関連性などが検討すべき課題である。